

平成 30 年 8 月 17 日
公益社団法人 日本水道協会

日本水道協会 全国地震等緊急時訓練
平成 30 年度応援訓練について

日本水道協会では、水道界初の試みとして、全国から水道事業者が参加する「日本水道協会 全国地震等緊急時訓練 平成 30 年度応援訓練」を静岡市において実施します。

本訓練には、本協会の全ての地方支部から水道事業者が参加し、応急給水・応急復旧訓練等を実施し、水道事業者の連携強化、災害対応能力の向上を図ります。

記

- 資料 1 : 水道の災害への取組
- 資料 2 : 平成 30 年度応援訓練 参加予定水道事業者一覧
- 資料 3 : 平成 30 年度応援訓練 日程モデル
- 資料 4 : 将来の災害に備えて

担当 : 日本水道協会調査部調査課 阿部・大澤・小林
電話 : 03-3264-2359
Email : cho-sa@jwwa.or.jp

● 全国の水道事業者による相互応援のネットワーク※1



被災した水道事業者の給水を早期に確保するため、

全国の水道事業者による相互応援(応急給水・応急復旧)のネットワークがあります

【ネットワークを活用した支援例】

-新潟県中越地震-	-東日本大震災-	-平成28年熊本地震-
2004年10月23日 発生 マグニチュード6.8 最大震度7	2011年3月11日 発生 マグニチュード9.0 最大震度7	2016年4月14日 発生 マグニチュード7.3 最大震度7
断水:約13万戸	断水:約257万戸	断水:約45万戸
応援給水車…延1,031台 応援人数…延2,270人 活動期間…39日間	応援給水車…延13,800台 応援人数…延約41,400人 活動期間…152日間	応援給水車…延約1,650台 応援人数…延約14,300人 活動期間…68日間

ネットワークのイメージ

※1 「地震等緊急時対応の手引き」 公益社団法人日本水道協会による相互応援の仕組み

● 懸念される巨大地震

今後、南海トラフ巨大地震※2や首都直下地震※3の発生が懸念されています
これらの巨大地震では、

広域・長期にわたる断水が起こる可能性があります

※2 中央防災会議 防災対策推進検討会議 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ

南海トラフ巨大地震の被害想定について(第二次報告)～ 施設等の被害 ～【定量的な被害量(都府県別の被害)】平成25年3月18日

※3 中央防災会議 首都直下地震対策検討ワーキンググループ 首都直下地震の被害想定と対策について(最終報告)平成25年12月



● そんな災害に備えるために、全国訓練※4を実施しています

南海トラフ巨大地震などの大規模災害が発生し、全国での応援が必要になることを想定した、

全国の水道事業者が参加する訓練を実施します

第1段！ 平成29年度情報伝達訓練

災害が起きてしまったら、速やかに被災状況を伝え、必要な応援を要請することが大切です

応援する側も迅速な出動に備え、応援体制を整える必要があります

そこで、全国各地の水道事業者が参加し、情報連絡体制、応援体制の確認をする情報伝達訓練を実施します

● 実施日:平成30年1月24日

● 実施場所等:日本水道協会及び全国の訓練参加水道事業者で、電話・E-mailを連絡手段として実施します

第2段！ 平成30年度応援訓練

応援要請を受けると、応援する事業者は、必要に応じて給水車などで被災地に駆けつけます

そして、給水車で水を配ったり、破損した管路の応急修理を行います

それらの活動をスムーズに行えるよう、合同の応急給水や応急復旧訓練を実施します

● 実施日:平成30年11月6日・7日

● 実施場所等:静岡市に全国から給水車等が参集して実施します

※4 正式名称「日本水道協会 全国地震等緊急時訓練」

【全国訓練に関するお問い合わせ先】

日本水道協会 調査部調査課 全国訓練担当
TEL:03-3264-2359 E-mail:cho-sa@jwwa.or.jp
所在地:東京都千代田区九段南4-8-9

水道事業の連携強化!!

災害対応能力の向上!!

日本水道協会 全国地震等緊急時訓練
平成30年度応援訓練

- 目的 -

日本水道協会は、全国の水道事業者等 約1500団体を正会員とした全国的な組織です

それらの水道事業者を7つの地方支部に分け、様々な活動を実施しています

阪神・淡路大震災、東日本大震災をはじめ、度重なる大地震時においては、この全国の水道事業者による相互応援のネットワークを活用し応援活動を実施してきました

平成30年度応援訓練では、水道界初の試みとして、全地方支部から水道事業者が参加し、この訓練を通じて、**水道事業者の連携強化、災害対応能力の向上**を図ります

！ 全国の水道事業者が一堂に会する訓練だからこそ・・・

- 災害時に重要になる、被災地での情報共有や作業指示について、
地方支部ごとのノウハウや創意工夫を共有する機会とする
- 全国から参集することで、普段の訓練では経験できない長距離移動(フェリー等)や、
日常とは異なる道路事情の道を走ることで、災害時の応援に備えた体験をする
- 全国から多くの水道事業者を受け入れることで、
受援側の体制を見直し、新たな気づきを得る機会とする

- 概要 -

静岡市域を震源とする大地震が起こり、静岡市内で大規模な断水が発生しているという想定のもと、全国から給水車等が参集します

静岡市(水道給水対策本部)からの指示・情報の流れを確認し、応急給水訓練、応急復旧訓練等を実施します

■ 実施日：平成30年11月6日・7日

■ 実施場所：ツインメッセ静岡(メイン会場)
静岡市上下水道局庁舎
その他静岡市内 小学校、病院等各施設

■ 訓練実施規模：参加事業者数 **63** 事業者
事業者参加者数 **261** 名
給水車等車両数 **111** 台

※ 平成30年8月現在

中国四国地方支部
給水車10台、他車両10台
参加者43名

中部地方支部
給水車9台、他車両10台
参加者51名

東北地方支部
給水車7台、他車両7台
参加者33名

関東地方支部
給水車9台、他車両9台
参加者46名

九州地方支部
給水車9台、他車両3台
参加者27名

北海道地方支部
給水車6台、他車両7台
参加者28名

関西地方支部
給水車7台、他車両8台
参加者33名

■ 実施訓練メニュー：

- ✓ 参集訓練
- ✓ 中継水道事業者活用訓練
- ✓ 応援水道事業者受入訓練
- ✓ 水道給水対策本部運営訓練
1) 幹事応援水道事業者会議
2) 応援水道事業者全体会議
- ✓ 応急給水訓練
(静岡市内小学校・病院等で実施予定)
- ✓ 応急復旧訓練
(管路漏水の実地作業を実施予定)
- ✓ 災害対策方法等情報交換会
- ✓ 報告書作成訓練
- ✓ 応急給水・応急復旧活動報告訓練
- ✓ 帰還訓練



小学校での応急給水訓練(イメージ)



応急復旧訓練(イメージ)

【全国訓練に関するお問い合わせ先】 日本水道協会 調査部調査課 全国訓練担当
TEL:03-3264-2359 E-mail:cho-sa@jwwa.or.jp 所在地:東京都千代田区九段南4-8-9

平成30年度応援訓練 参加予定水道事業体一覧

(8月17日現在)

地方支部	水道事業体名	参加事業体	参加人数
北海道 地方支部	札幌市水道局、千歳市水道局、釧路市上下水道部、 室蘭市水道部、苫小牧市上下水道部、函館市企業局、 旭川市水道局	7 事業体	28 人
東北 地方支部	仙台市水道局、石巻地方広域水道企業団、郡山市上下水道局、 青森市企業局水道部、山形市上下水道部、秋田市上下水道局、 盛岡市上下水道局	7 事業体	33 人
関東 地方支部	横浜市水道局、東京都水道局、川崎市上下水道局、 千葉県水道局、さいたま市水道局、前橋市水道局、 宇都宮市上下水道局、日立市企業局上下水道部、中央市水道課	9 事業体	46 人
中部 地方支部	名古屋市上下水道局、豊橋市上下水道局、新城市上下水道部、 津市水道局、桑名市上下水道部、岐阜市上下水道事業部、 福井市企業局、敦賀市水道部、金沢市企業局、 富山市上下水道局、長野市上下水道局、新潟市水道局	12 事業体	51 人
関西 地方支部	大阪市水道局、豊中市上下水道局、京都市上下水道局、 西宮市上下水道局、奈良市企業局、大津市企業局、 和歌山市企業局	7 事業体	33 人
中国四国 地方支部	広島市水道局、呉市上下水道局、岡山市水道局、 倉敷市水道局、下関市上下水道局、米子市水道局、 鳥取市水道局、松江市上下水道局、香川県広域水道企業団、 松山市公営企業局、徳島市水道局、高知市上下水道局	12 事業体	43 人
九州 地方支部	福岡市水道局、北九州市上下水道局、大分市水道局、 長崎市上下水道局、佐賀市上下水道局、熊本市上下水道局、 宮崎市上下水道局、鹿児島市水道局、那覇市上下水道局	9 事業体	27 人
計		63 事業体	261 人

(2018.8.17 現在)

平成 30 年度応援訓練日程モデル

【参集訓練開始までの前提】

- ✓ 11 月某日 静岡市内で大地震が発生
 - ※大地震発生日時は各都府県支部・地区協議会毎に想定する
- ✓ 静岡市内で浄水施設や管路に多数の被害が発生
- ✓ 静岡市内で大規模な断水が発生
- ✓ 静岡市上下水道局が水道給水対策本部を立ち上げる
- ✓ 静岡県支部長(静岡市)から中部地方支部長(名古屋市)へ応急給水隊 57 班及び応急復旧隊 15 班の応援要請有り
- ✓ 日本水道協会本部は中部地方支部長と協議し、救援本部を立ち上げる
- ✓ 中部地方支部長から救援本部へ応急給水隊 48 班(中部地方支部内 9 班を除く)及び応急復旧隊 10 班(中部地方支部内 5 班を除く)の応援要請有り
- ✓ 救援本部から各地方支部長(中部地方支部長を除く)へ応援要請を行う
- ✓ 救援本部から中継事業体を必要とする応援地方支部へ中継水道事業体情報の提供を行う

以上については、平成 29 年度情報伝達訓練において実施済みのため、平成 30 年度応援訓練では以下について訓練を行うものとする

●参集（～11月6日）

- ◆ 「地震等緊急時対応の手引き」に基づき応援要請を受けた各水道事業体は、静岡市へ向けて出発

●中継水道事業体活用（～11月6日）

- ◆ 中継水道事業体を必要とする応援水道事業体は、提供を受けた中継水道事業体情報を基に中継水道事業体と調整を図り、中継水道事業体の施設を夜間駐車場として利用する

※今回の訓練では、日本水道協会本部と応援地方支部が調整を行う

●応援水道事業体充水（11月6日 10～15時の間に随時）

- ◆ 水道給水対策本部（静岡市）指定の浄水場にて、給水車へ充水

●応援水道事業体受入（11月6日 10～15時の間に随時）

- ◆ 水道給水対策本部（静岡市）が指定した施設（ツインメッセ静岡）に参集

●水道給水対策本部運営 1）幹事応援水道事業体会議

（11月6日 16:00～）於：静岡市上下水道局

- ◆ 幹事応援水道事業体を各地方支部長都市に決定し、幹事応援水道事業体会議を実施し、水道給水対策本部（静岡市）から幹事応援水道事業体へ下記の情報共有・作業指示等を行う
 - ① 幹事応援水道事業体と被害情報・道路情報の共有
 - ② 担当エリアの決定・作業を指示
 - ③ 充水施設・応急給水場所・応急給水時間等確認

●水道給水対策本部運営 2）応援水道事業体全体会議

（11月7日 9:05～）於：ツインメッセ静岡

- ◆ 幹事応援水道事業体（地方支部長）から同支部内応援水道事業体へ下記の情報共有・作業指示等を行う
 - ① 被害情報・道路情報の共有
 - ② 担当エリアの決定・作業を指示
 - ③ 充水施設・応急給水場所・応急給水時間等確認

●応急給水（11月7日 10:30～）於：小学校、病院、ツインメッセ静岡等

- ◆ 指示された施設において応急給水活動を実施
 - ※ 小学校・病院以外の応急給水隊は、指示された施設まで移動し、場所を確認した後、ツインメッセに帰任

●応急復旧(11月7日 11:00～) 於：ツインメッセ静岡

- ◆ 水道給水対策本部(静岡市)から指示された応急復旧活動を実施

●災害対策方法等情報交換会(11月7日 10:40～) 於：ツインメッセ静岡

- ◆ 各地方支部で行っている災害対策方法等について発表を行う

●報告書作成(11月7日 13:45～)

- ◆ 各応援水道事業体は、報告書(指示された作業内容、現場での気づき等)を作成し、所属する幹事応援水道事業体(地方支部長)へ提出

●応急給水活動報告・応急復旧活動報告(11月7日 15:00～)

- ◆ 幹事応援水道事業体(地方支部長)が各応援水道事業体の報告書を取りまとめ水道給水対策本部(静岡市)へ作業の完了を報告

●帰還(11月7日 15:30～)

- ◆ 所属水道事業体へ帰還

将来の災害に備えて

～1人1人ができること～



災害が発生すると水道が・・・

大きな地震などが起きると、水道管が壊れて水が出なくなり、風呂やトイレなどが使えなくなってしまいます。



2011年3月に発生した東日本大震災では、19都道県で約256.7万戸の断水が発生しました（※1）。 ※1 厚生労働省ホームページを参考に作成

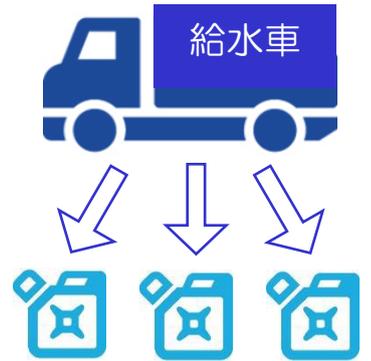


給水・復旧まで時間がかかります

災害によって断水が起こった場合、給水車が駆け付けて学校や公民館などで給水を行います。

また、災害によって破損した水道管の修理・復旧も始まります。

しかし、給水車による給水には限界があり、水道管の復旧工事も時間がかかります。



キーワードは「1人1日3ℓ×3」

給水車による給水や破損した水道管の修理が終わるまでの間も、水は必要不可欠ですが、その分は自分たちで確保しておくことが必要です。

国は災害に対する水の備えとして、「1人1日3ℓの飲料水を3日分」備蓄することを勧めています（※2）。また、大規模災害発生時には、1週間分の飲料水の備蓄が望ましいとされています。

なお、飲料水とは別にトイレを流す時などに使用する生活用水も必要です。お風呂の浴槽に水を溜めておくのも有効な手段です。

「いざ」という時に備えて、普段の暮らしから常に水を確保するようにしましょう。

※2 首相官邸ホームページを参考に作成

【全国訓練に関するお問い合わせ先】

日本水道協会 調査部調査課 全国訓練担当
TEL:03-3264-2359 E-mail:cho-sa@jwwa.or.jp
所在地:東京都千代田区九段南4-8-9



2ℓ 2ℓ



2ℓ 2ℓ



1ℓ

3日分

FAX:03-3264-2205

※FAX をご送信の上、担当まで確認のお電話をお願いします。

平成 30 年度応援訓練 取材申込書

申込期限:10月19日(金)

※期限後の取材申込みについては、別途ご相談ください。

御社名:

ご芳名:

電話番号:

Email アドレス:

◆取材希望 ※希望される訓練内容に○を付けてください。

取材希望	おおよその開始時刻	訓練内容
	11/6(火) 16時～	於: 静岡市上下水道局庁舎 ・水道給水対策本部運営1) 幹事応援水道事業体会議
	11/7(水) 9時～ 10時半～ 11時～ 10時半～	於: ツインメッセ静岡 ・水道給水対策本部運営2) 応援水道事業体全体会議 ・応急給水訓練 ・応急復旧訓練 ・災害対策方法等情報交換会 ・開閉会式等
	9時～ 10時～	於: 宮竹小学校 ・応急給水訓練 静岡市による児童への講義 各都市による応急給水訓練

上記以外の小学校の取材はできません。

担当: 調査部調査課 阿部、大澤、竹谷、小林
TEL:03-3264-2359 Email cho-sa@jwwa.or.jp